

## 8. 2 京都の市民と大学人のつどい

### 「日本の学術と大学の危機をどう打開するか」

日本の学術と大学をめぐる危機的な状況はいっそう深刻なものとなっています。わたしたちは昨年10月20日に、「日本学術会議への政治介入に抗議し、説明・撤回を求める京都緊急集会」を開催いたしました。

その後も6人の会員候補者に対する任命拒否は改められていません。6人が求めた情報開示さえ拒否しています。政府は学術会議のあり方を見直し、国を代表するアカデミーとしての役割を骨抜きにしようとしています。学術に対する露骨な政治介入は強まるばかりです。

いっぽうで、「大学の自治」を破壊する動きも継続しています。改定された国立大学法人法は、学長選考会議の権限強化と学長へのチェック機能の明確化が目的とされました。しかし、実態は、国策のための大学づくりとそのための学長に対する統制に他なりません。この間いくつかの大学で生じた学長の「暴走」を、改定の口実にしたことも許しがたいものです。「暴走」の背景にあるのは「大学の自治」の破壊に他ならないからです。

以上のようなことから、わたしたちは市民の皆さんにも広く参加を呼びかけ、「日本の学術と大学の危機をどう打開するか」をテーマにして、下記のような「つどい」を開催いたします。ぜひ多くの皆さんがご参加いただきますよう呼びかけます。

\*日時：2021年8月2日（月）18：30～20：30（18:00開場）

\*場所：アバンティ9階・龍谷大学校友会館「響都ホール」

※ 京都駅八条東口から徒歩1分

<https://www.ryukoku.ac.jp/ryudaihall/access/>

\*内容：講演1：駒込武氏（京都大学）

「国立大学のガバナンス改革と大学危機」

講演2：光本滋氏（北海道大学）

「コロナ・パンデミックが問う大学の姿」

パネルディスカッション

\*その他：対面とオンラインの併用で開催します（コロナ対応のため、当日会場定員は100人を予定しています）。参加費は無料、事前申し込みは不要です。

Zoom情報は、以下の通りです。

<https://us02web.zoom.us/j/85450833518?pwd=all6QVc5OGRuN095UjZrSTpeS9rUT09>

ミーティングID：854 5083 3518 パスコード：551687

なお、IWJによるライブ中継を予定しています。

- ・主催：「京都の市民と大学人のつどい」実行委員会（京都大学職員組合、京都府公立大学法人労働組合、京滋私大教連、自由と平和のための京大有志の会、日本科学者会議京都支部）
- ・事務局：日本科学者会議京都支部（担当：細川孝 [hosokawa@biz.ryukoku.ac.jp](mailto:hosokawa@biz.ryukoku.ac.jp)）